

市の誕生！ 北摂を代表する都市へと成長



昭和22年の市街地空撮写真

1943 (昭和18) **高槻市誕生。府内で9番目**
(人口3万1615人、世帯数6796世帯)

- 第1回市議員選挙
- 初代市長に磯村彌右衛門氏が就任
- 市営水道が発足

1945 (昭和20) 太平洋戦争終わる

- 第2代市長に中井啓吉氏が就任

1947 (昭和22) 第3代市長に古田誠一郎氏が就任

- 市歌制定

1948 (昭和23) 三島郡阿武野村が高槻市に編入

- 市消防本部と市警察が発足
- 高槻商工会議所設立

1949 (昭和24) 天神山火葬場完成

1950 (昭和25) 第4代市長に阪上安太郎氏が就任

市政ニュース
(現・広報たかつき) 第1号発行

- 五市(池田、茨木、枚方、守口、高槻)競輪組合が発足
- 市営葬儀開始
- 第1回高槻市文化祭開催
- 三島郡五領村が高槻市に編入

1951 (昭和26) 高槻市社会福祉協議会が発足

- 摂津峡が建設大臣により風致地区に指定
- 高槻市森林組合が発足

1952 (昭和27) 大阪府都市競艇組合が発足

- 高槻市教育委員会が発足

1953 (昭和28) 市制施行10周年

- 台風第13号(檜尾川・芥川決壊)

1954 (昭和29) **市営バス13両で事業開始**

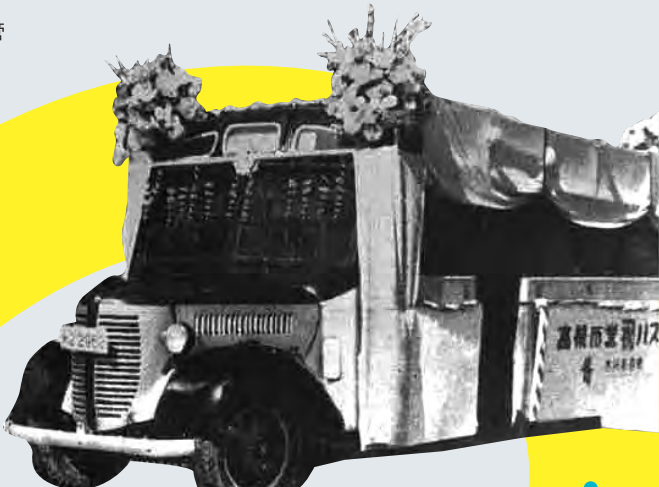
- 第5代市長に阪上安太郎氏が就任
- 市営し尿汲み取り事業開始
- 警察法改正により市警察を府に移管

人口
5万人
突破

1953



昭和37年、乳牛が放牧されている様子
(三箇牧地区)



昭和29年、
市営バス開
業式の様子

1955 (昭和30) 三島郡三箇牧村が高槻市に編入

- 消防本部庁舎(野見町)完成
- 青少年補導センター開設

1956 (昭和31) 摂津峡教育キャンプ場完成

- 三島郡富田町が高槻市に編入
- 市民グラウンド完成

1957 (昭和32) 消防署北出張所開設

- 高槻市農業委員会設置
- 国鉄高槻駅に東海道本線快速電車が停車
- 高槻市老人クラブ連絡協議会が発足

1958 (昭和33) 今城塚古墳が国史跡に指定

- 第6代市長に鈴木定次郎氏が就任
- 京都府南桑田郡榎田村が府境を越えて高槻市に編入

1959 (昭和34) 消防署西分署開署

1960 (昭和35) 高槻市音楽団が発足

1961 (昭和36) し尿処理場(唐崎)完成

1962 (昭和37) 第7代市長に鈴木定次郎氏が就任

- 養老院(現・市立養護老人ホーム)開所
- ごみ焼却場(前島)完成

1963 (昭和38) 市制施行20周年

名神高速道路開通(栗東～尼崎)

- 市民プール(野見町)オープン

1964 (昭和39) 高槻市少年少女合唱団が発足

- 大冠水源池開設
- 高槻市地域防災計画を策定(府内初)
- 市民会館が完成
- 市民会館の式場で市営結婚式開始



昭和40年ごろ、第一中学校での体育祭の様子

1965 (昭和40) ローマ教皇の特使を迎え

- 高山右近350年祭開催
- 安満山に市営火葬場完成(天神山火葬場は閉鎖)
- 高槻市社会福祉協議会善意銀行開設
- 国鉄高槻駅西踏切の立体交差化完成

1966 (昭和41) 「交通安全都市」を宣言

- 第8代市長に吉田得三氏が就任

1967 (昭和42) 高槻市農業協同組合が発足

- 市民の木「けやき」、市民の花「うのはな」選定
- 国鉄高槻駅西口開設
- 消防署富田出張所開設
- 国鉄八丁松原立体交差完成
- 北摂豪雨(女瀬川決壊)

1968 (昭和43) 高槻市観光協会設立

- 市立つきのき学園開園
- 市章を制定
- 天神山に市立図書館開館

1969 (昭和44) 公園墓地開園

- 高槻下水処理場運転開始
- 市立全小中学校22校にプール設置完了**
- 自然景観等保護条例制定(全国初)

人口
20万人
突破

1969

人口
15万人
突破

1967

人口
10万人
突破

1963

市民の誇り「高槻まつり」

「えじゃないか高槻まつり」という名称で昭和45年に第1回が開催されました。昭和の後半には開催が危ぶまれたこともありましたが、それを乗り越え、半世紀以上続く、まさに市民の皆さんが誇りに思っていただけの祭りです。



第1回高槻まつりの様子

人口
25万人
突破

人口
30万人
突破

1973

1971



昭和48年
ごろの高槻
センター街
の賑わい

1970 (昭和45) 第9代市長に吉田得三氏が就任

- 八丁松原の松並木の保存を願い記念碑を建立
- 市政だより(現・広報たかつき)をB5版からタブロイド版に変更
- 市立勤労青少年ホーム開館
- 国鉄摂津富田駅の橋上化完了

1971 (昭和46) **第1回 高槻まつり開催**

- 奈良時代の郡役所(嶋上郡衙)跡を発掘

1972 (昭和47) 伊勢寺など14カ所を自然景観地区に指定

- 高齢者・障がい者の市営バス無料乗車制度を開始

1973 (昭和48) 市制施行30周年

- 市民に防災情報等を伝達する行政無線開局
- 75歳以上で生活保護受給の独居高齢者宅に福祉電話を設置(全国初)

高槻・島本夜間・休日応急診療所開所
(城西町保健センター内)



昭和48年、榎田トンネル開通式の様子

昭和40年代の市立図書館の様子

昭和38年、滋賀県の栗東と兵庫県の尼崎間に名神高速道路開通

昭和36年、明治製菓工場内での作業の様子

市の発展

便利で快適なまちへ発展を続ける

1974
(昭和49)

- 第10代市長に吉田得三氏が就任
- 北消防署開署
- 富田ひかり診療所開所・
榎田診療所開所

1975
(昭和50)

- 富田解放会館開館
- 富田老人福祉センターオープン
- 埋蔵文化財調査センター開設
(全国初)

1980
(昭和55)

- 第12代市長に西島文年氏が就任
- 市憲章碑・記念碑 市役所前に建立

1981
(昭和56)

- 肢体不自由児通園施設・市立療育園がオープン
- 阪急高架工事に着手
- 消費生活センター開設

1982
(昭和57)

- 榎田支所庁舎完成
- 自然環境活用センター(二料山荘)、
林業センター、せせらぎの里(釣り堀)オープン
- 歴史民俗資料館開館
- シルバー人材センターが発足

1983
(昭和58)

- 市制施行40周年
- 「非核平和都市」を宣言
- 阿武山古墳が国史跡に指定
- 中消防署五領出張所開所

1984
(昭和59)

- 総合体育館開館
- 第13代市長に江村利雄氏が就任
- 春日老人福祉センターオープン

1985
(昭和60)

- 神峰山の森・
神峰山野草らん園オープン
- 大阪府三島救命救急センター開設

人口
35万人
突破

1985

1976
(昭和51)

- 消防本部新庁舎(桃園町)完成
- 第11代市長に西島文年氏が就任
- 「暴力追放都市」を宣言
- 高槻市コミュニティ市民会議が発足

1977
(昭和52)

- 郡家老人福祉センターオープン
- 富田青少年センターオープン
- 市民憲章を制定

1978
(昭和53)

- 榎田地区に森林観光センターオープン
- 高槻島本夜間休日応急診療所が
南芥川町に新築移転
- 「人権擁護都市」を宣言

1979
(昭和54)

- フィリピン・マニラ市と姉妹都市提携
- グリーンプラザたかつき1・2・3号館オープン
- 国鉄高槻駅橋上駅舎完成

昭和54年、グリーン
プラザたかつきオープ
ニングパレードの様子

1986
(昭和61)

- 榎田温泉オープン
- 行財政改革大綱発表
- 陸上競技場完成・
総合スポーツセンターオープン
- 中消防署三箇牧出張所開所
- 春日りばてコミュニティセンターがオープン

1987
(昭和62)

- 中国・江蘇省常州市と友好都市提携

昭和62年、
阪急高槻市
駅が高架化

1988
(昭和63)

- 第14代市長に江村利雄氏が就任
- 小寺池図書館開館
- 「健康都市」を宣言

1989
(昭和64・平成1)

- 障がい者福祉センター
「高槻ゆう・あいセンター」オープン

※施設名称は設立当初のもの



平成15年、しろあと歴史館開館

1990
(平成2)

- 歴史の散歩路全10コース
整備完了

1991
(平成3)

- しゃくなげ園オープン
- オーストラリア・クィーンズランド州
トゥーンバ市と姉妹都市提携

1992
(平成4)

- 文化ホール開館
- TakatsukiCityマラソン大会開催
- 北消防署西分署新庁舎開署

第1回このぼりフェスタ1000開催

第15代市長に江村利雄氏が就任
学校週5日制開始

1993
(平成5)

- 市制施行50周年
- 福井県三方郡三方町(現・若狹町)と
姉妹都市提携
- 総合保健福祉センターオープン
- 安満遺跡が国史跡に指定

1994
(平成6)

- 阪急京都線
連続立体交差事業完成
- 総合センター・中央図書館・
生涯学習センター開館
- 芥川緑地資料館開館
- 山手老人福祉センターオープン

1995
(平成7)

- 阪神淡路大震災発生
- 新池ハニワ工場公園開園
- 筑前琵琶奏者の山崎旭萃さんが
人間国宝に
- 熱利用センタークリンピア前島開館

1996
(平成8)

- 第16代市長に江村利雄氏が就任
- 総合市民交流センター・
女性センター・
青少年センターオープン

1997
(平成9)

- 芥川緑地プール(ぶーるびあ)オープン
- 安満宮山古墳から「青龍三年」銘の銅鏡等が出土
- 高槻ケーブルネットワーク開局。市広報番組放送開始
- 今城塚古墳発掘調査開始
- 西部地域保健センターオープン

1998
(平成10)

- 萩谷総合公園オープン(第1期工事分)
- 番田温水プールオープン
- 高槻城跡で最古のキリシタン墓・ロザリオ発見
- 北消防署阿武野出張所開所
- 市ホームページ開設
- 安満宮山古墳復元整備完成

1999
(平成11)

- 第1回高槻ジャズストリート開催
- 第17代市長に奥本務氏が就任

平成15年、市民有志が
寄付を募ってJR高槻駅
前に花時計を設置

2000
(平成12)

- 第1回高槻クロスカントリー大会開催

2001
(平成13)

- 今城塚古墳から国内最大級の家形埴輪出土
- 第1回大型絵画展・わくわくストリート21開催

2002
(平成14)

- 關鷄山古墳が国史跡に指定

2003
(平成15)

- 市制施行60周年
- 市民公益活動サポートセンターオープン
- しろあと歴史館開館

中核市に移行(府内2番目)・
市保健所開設

榎田小学校が特認校に
うの花療育園開園

第18代市長に奥本務氏が就任

芝生市民プール・芝生図書館・
芝生老人福祉センターオープン

平成15年、
中核市移行
式典の様子平成17年、「いましろ 大王の杜」オープンに
向け、アトンの石棺を修羅引きで運ぶ「千人で
運ぶ大王の石棺」イベント開催時の様子

2004
(平成16)

- 放置自転車インターネット
オークション開始(全国初)
- 市立全小中学校の
普通教室と職員室に
冷房設備設置(府内初)
- 阿武山図書館開館

2005
(平成17)

- JR高槻駅北地区市街地再開発完了
- 阪急上牧駅北地区がまちびらき
- 葬祭センター新火葬棟が運用開始
- 北消防署警手分署開署

2006
(平成18)

- 葬祭センター市営葬儀式場開館
- 特別救急隊(ドクターカー)の本格運用開始
- 高齢者の介護予防を目的に作成した健康体操
「高槻ますます元気体操」スタート



2007
(平成19)

- 子育て総合支援センター
「カンガルーの森」オープン
- 第19代高槻市長に奥本務氏が就任
- 高槻・とかいなか創生特区誕生

2008
(平成20)

- 市営バスでICカード決済導入
- 乳児家庭を全戸訪問するこにちは赤ちゃん事業開始

2009
(平成21)

- 市民公益活動サポートセンター協働プラザ開設

2010
(平成22)

- 古曽部防災公園完成
- 中央図書館ミュージズ子ども分室開設

ハニワの日(8月20日)制定

2011
(平成23)

- 高槻市コールセンター開設
- 史跡公園・古代歴史館「いましろ 大王の杜」がオープン
- 第20代市長に濱田剛史氏が就任
- 消防本部新庁舎完成

はにたんが市の
マスコットキャラクターに

2012
(平成24)

- 学校図書100万冊計画を達成
- 所得制限なしの
不妊治療助成を開始
- 市パスポートセンターオープン
- JR高槻駅北東地区が
まちびらき

再開発前のJR高槻駅北
側の様子(平成13年)平成17年、阪急上牧
駅北地区まちびらき
記念式典の様子平成23年、史跡公園・古代歴史館
「いましろ 大王の杜」オープン当
日の様子

市の成熟

安心・安全で長く暮らせるまち。そして 未来へ

2013
(平成25)

- 市制施行70周年
- 第1回安満遺跡青銅祭開催
- 定住促進プロモーションを開始

○ **小学校全学年で
35人学級編制を実施(府内初)**

- はにたんいじめ110番開設
- 服部図書館開館
- 3世代ファミリー
定住支援事業開始
- 防災Twitter開始
- 妊婦健診費用の助成額を
全国トップクラスに



平成26年、市
全域大防災訓練の様子

2015
(平成27)

- 第1回たかつき産業フェスタが開催
- 生活困窮者等自立支援事業を開始
(市役所内にハローワーク常設窓口を設置)
- 第21代市長に濱田剛史氏が就任
- 西阿武野コミュニティセンターが開設され
32地区コミュニティの活動拠点整備が完了
- がん検診を無料化
- 自転車安全利用条例が施行
- 中学校土曜学習「学びup↑講座」開始

2016
(平成28)

- 「高槻市みらいのための経営革新宣言」発出
- ワークサポートたかつきにマザーズコーナーを設置
- JR高槻駅新ホーム・新西口改札の供用開始

○ **JR高槻駅に
特急「はるか」号の停車開始**

- 連携型小中一貫教育をスタート
- 通学路の防犯カメラ410台が運用開始
- 自治会が設置する防犯カメラへの補助制度創設
- 小学生以下の
インフルエンザ予防接種費用助成開始
- 体験交流型観光プログラム
「オープンたかつき」スタート
- 「高槻うどんギョーザの会」B-1グランプリ初出場
- 証明書コンビニ交付サービス開始



平成28年、JR高槻駅での特急
「はるか」号出発式の様子



平成30年、大阪府北部地震で
甚大な被害

2018
(平成30)

- 「まちごと図書館」事業を開始
- 大阪府北部地震、
平成30年台風第21号で甚大な被害
一部損壊等住宅修理支援を実施
- 民間ブロック塀等撤去工事費
補助制度を創設
- **公益社団法人日本将棋連盟と
包括連携協定を締結(全国初)**
- 国に先行して5歳児の
幼児教育・保育料を無償化
- 第1回桐山清澄杯将棋大会を開催



平成26年、多くの人が体操などに取り組む健康
ポイント事業スタート

2014
(平成26)

- 市全域大防災訓練を初めて実施
- **保育所待機児童ゼロを達成**
- 健康ポイント事業スタート
- 中学校で給食を開始
- 子どもの医療費助成対象を中学生まで拡大
- 中学生のピロリ菌検査・除菌治療開始
- 広報たかつきがA4冊子版「たかつきDAYS」に
- モノレールと市営バスで
「どっちもたかつき号」の運行がスタート
- 榎田地区空き家情報バンク・空き家再生事業補助金スタート
- 年度途中の保育ニーズに対応する高槻市立臨時保育室開設

平成26年、
中学校で始
まった給食
の様子



2017
(平成29)

- 高槻城築城400年
- JR高槻駅に特急「サンダーバード」号の停車開始
- 市営バスにバスロケーションシステム導入
- 安満遺跡公園計画地内に雨水貯留施設が完成
- 水害・土砂災害ハザードマップを各戸に配布
- 北摂7市3町図書館広域利用開始
- 「『高槻市みらいのための経営革新』に向けた改革方針」策定
- 淀川大塚切れ100年シンポジウム開催
- **新名神高速道路の高槻JCT・IC供用開始**

2020
(令和2)

- 王将戦が2年連続で開催
- 第1回高槻こども王将戦開催
- 市役所本館の耐震化が完了
- 観光プロモーション「BOTTOたかつき」スタート
- 子ども医療費助成対象を18歳までに拡大
- **新型コロナウイルス感染症がまん延し
対策本部設置、約425億円の支援事業実施(令和2年度)**
- 手話言語条例施行
- 高槻市LINE公式アカウント開設。緊急情報を発信
- ホテル誘致事業によりホテルアベストグランデ高槻が開業
- 高槻城公園内に雨水貯留施設完成
- スクラム高槻「地元のお店応援券」第1弾商品券の利用開始
- 高槻市の定住促進PRアニメ公開
- たかつき観光大使に「しばたありぼ」さん(ヤバイTシャツ屋さん)、
「マイケル」さん(夜の本気ダンス)就任



令和元年、第50回高槻まつりでのディズニー記念パレードの様子

2022
(令和4)

- 王将戦が4年連続で開催
- たかつき観光大使に「高槻やよい」さん
(アイドルマスター)就任
- **中学校給食を無償化**
- 中学校での35人学級編制を開始
- 高槻現代劇場市民会館が閉館
- 三次救急機能が
大阪医科薬科大学病院へ
- 産婦健診に最大1万円助成
- 電子図書館を導入
- 芥川城跡が国史跡に指定

市制施行
80周年

2023 & into the Future

2023
(令和5)

- **市制施行
80周年を迎える**

2021
(令和3)

- 王将戦が3年連続で開催
- 安満遺跡公園を全面開園
- 寿栄小学校が本市で初めて
セーフティプロモーションスクール認証取得
- 送迎保育ステーション事業を開始
- 城跡公園の名称を高槻城公園に変更
- 市税・国民健康保険料の
キャッシュレス決済導入
- LINE公式アカウントで
市政全般の情報を発信開始
- 緊急・災害情報を電話、
ファクスで配信開始
- 障がい者アートの展覧会
「高槻アートチャレンジ」を開催
- **日本将棋連盟・関西将棋会館の
高槻市移転が決定**
- 将棋会館建設支援のため
ふるさと納税型
クラウドファンディング開始
- 市内5カ所の老人福祉センターが
「すこやかテラス」としてリニューアル

令和3年、安満遺跡公園を全面開園



2019
(平成31・令和1)

- 市役所本館1階をリニューアル
- **将棋のタイトル戦
「王将戦」が本市で初開催**
- 第2回市全域大防災訓練実施
- 安満遺跡公園が一次開園
- 郵便局で証明書の交付サービスを開始(府内初)
- 高槻子ども未来館が開館。病児保育、
休日・一時預かり保育を開始
- 公園墓地の合葬式墓地供用開始
- 高槻クリーンセンター第三工場稼働開始
- 第22代市長に濱田剛史氏が就任
- 第50回高槻まつりにディズニー記念パレード
- たかつき観光大使に「ウルフルケイスケ」さん就任



平成29年、淀川
大塚切れ100年
現場式典の様子

令和3年、日本将棋連盟・
関西将棋会館の高槻市
への移転決定

